

【調査概要】

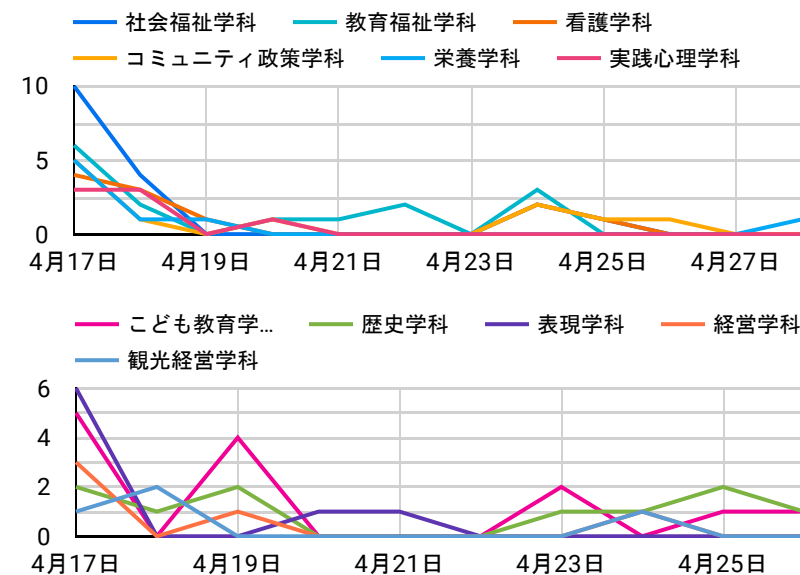
- ◆卒業1年後調査の対象者
淑徳大学卒業生（2021年度に卒業し、1年経過した者）
- ◆調査実施時期
4月17日（月）～4月29日（土）
- ◆調査方法
WEB（Googleフォーム）
メールにて回答依頼を4月17日及び4月24日に実施
- ◆対象者及び回答率
対象者1,074名、メール不達数181名
回答対象者893名、回答者109名、回答率12.2%

【回答者数】

Q1 卒業した学部・...	Record Count
1. 社会福祉学科	17
2. 教育福祉学科	15
3. こども教育学科	13
4. 看護学科	11
5. コミュニティ政策学科	11
6. 歴史学科	10
7. 表現学科	8
総計	109

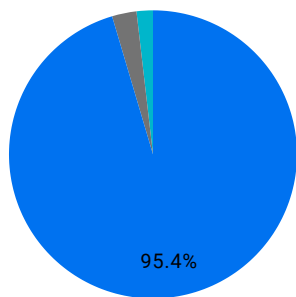
1 - 11 / 11 < >

【回答日】



【あなたの現在の状況について】

◆卒業後の進路について

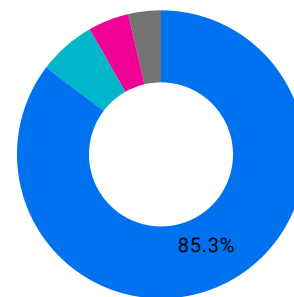


- 就職
- その他
- 進学

進路その他	R...
1. 芸能活動と並行しながらフリーター	1
2. 就職浪人生	1
3. 一年浪人し今年の一月にようやく就...	1
4. null	1...

1 - 4 / 4 < >

◆現在の就業状況

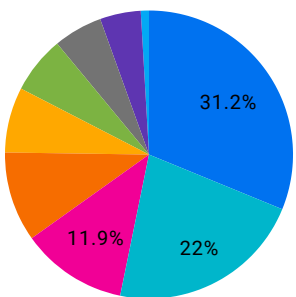


- 卒業後初めての就職先で継続して働い...
- 退職して別のところで働いている
- 退職し、現在は働いていない
- その他

就業状況その他	R...
1. 学生時代のアルバイト先にて勤務継...	1
2. 新採用として新しい場所で働いている	2
3. 大学院に進学	2
4. 就活中	2
5. null	1...

1 - 5 / 5 < >

◆現在働いている就職先

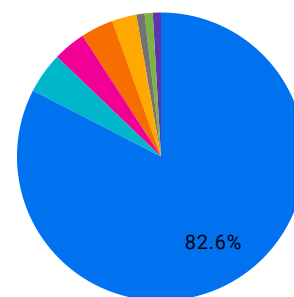


- 企業・団体
- 学校（幼稚...）
- 福祉施設・...
- 医療関係法人
- 国・地方公...
- 福祉系企業
- その他
- 就職・進学...
- 大学院等 (...)

就職先その他	R...
1. 金融	1
2. 建設機械	1
3. インフラエンジニアのSES	1
4. 大学院等（進学）	1
5. 就職・進学をしていない	5
6. 福祉系企業	7

1 - 9 / 9 < >

◆雇用形態



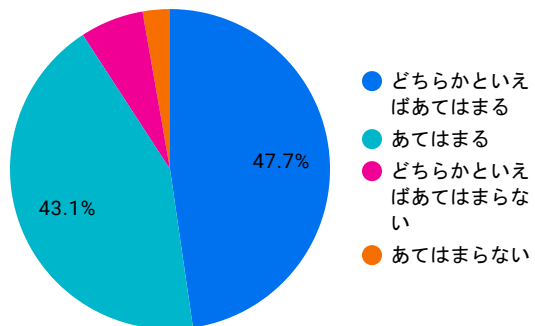
- 正社員（職員）
- 契約社員 (...)
- アルバイト...
- 派遣社員 (...)
- その他
- 学生
- 働いていない

4) 雇用形態について（その他回...	R...
1. 講師	1
2. null	1...

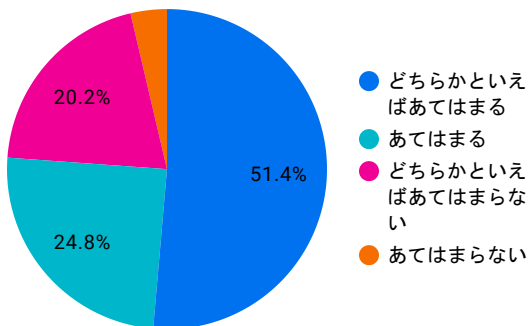
1 - 2 / 2 < >

【学生生活について】

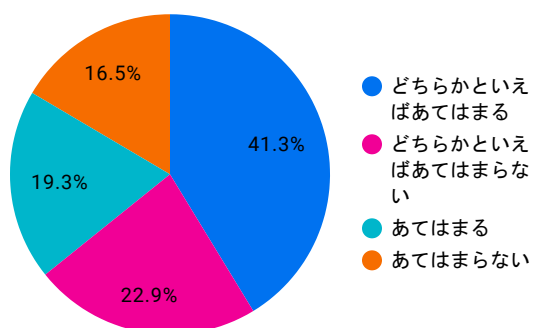
◆大学生生活は充実していた



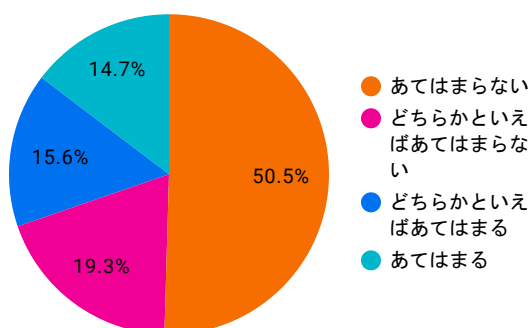
◆大学の授業に熱心に取り組んでいた



◆大学の成績は良かったほうだと思う



◆部活やサークルに熱心に取り組んでいたほうだ



【学生生活のクロス表】

		大学生生活充実 / Record Count			
授業熱心	どちらかといえばあてはまる	あてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	
どちらかといえばあてはまる	24.77%	22.94%	3.67%	-	
あてはまる	12.84%	11.93%	-	-	
どちらかといえばあてはまらない	9.17%	8.26%	1.83%	0.92%	
あてはまらない	0.92%	-	0.92%	1.83%	

		大学生生活充実 / Record Count			
成績が良い	どちらかといえばあてはまる	あてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	
どちらかといえばあてはまる	24.77%	15.6%	0.92%	-	
どちらかといえばあてはまらない	8.26%	11.93%	2.75%	-	
あてはまる	8.26%	10.09%	0.92%	-	
あてはまらない	6.42%	5.5%	1.83%	2.75%	

		大学生生活充実 / Record Count			
部活等熱心	どちらかといえばあてはまる	あてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	
あてはまらない	25.69%	16.51%	5.5%	2.75%	
どちらかといえばあてはまる	11.93%	7.34%	-	-	
どちらかといえばあてはまらない	5.5%	9.17%	0.92%	-	
あてはまる	4.59%	10.09%	-	-	

【仕事で役立っている大学の学びや経験（複数回答）回答数】

◆大学で学んだ知識や理論（回答数）

53

◆演習での学びや経験（回答数）

27

◆実習での学びや経験（回答数）

51

◆正課外での学びや経験（回答数）

9

◆大学での友人・仲間の繋がり（回答数）

69

◆大学での教員や職員との繋がり（回答数）

27

◆分からないことを調べる方法（回答数）

30

◆大学で学んだ知識や理論（回答率）

48.62%

◆演習での学びや経験（回答率）

24.77%

◆実習での学びや経験（回答率）

46.79%

◆正課外での学びや経験（回答率）

8.26%

◆大学での友人・仲間の繋がり（回答率）

63.30%

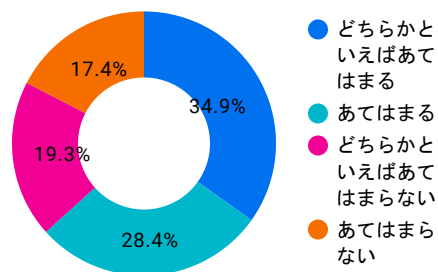
◆大学での教員や職員との繋がり（回答率）

24.77%

◆分からないことを調べる方法（回答率）

27.52%

【大学で学び直したいことはあるか】



学び直したいこと自由記述		Reco...
1.	様々な保育の在り方	1
2.	自分の研究テーマについてもっと深く勉強したい	1
3.	子どもの愛着や教育について	1
4.	勤めている会社の職種や業界の経営に関する実例などについて知りたい。また、SDGsなど現在の経営的な情勢について学び直し、1年間でどれほど変化があったか確認したい。	1
5.	動画制作や文章表現	1
6.	実践科目	1
7.	学級経営について	1
8.	実習にて、多く学びたかった	1
9.	観光学	1

2023年9月27日

淑徳大学高等教育研究開発センター

本学卒業生の就職先への意見聴取（インタビュー）の実施について

本調査は、本学学生の卒業後就職状況等から、教育の成果や効果を検証することを目的として、実際に本学卒業生が就職している企業に対してインタビューを実施し、その結果を報告するものである。質問項目及び結果を、ご協力いただいた企業ごとに以下記載する。なお、この結果は、企業名を伏せた上で年度内に大学ホームページ内に掲載予定である。

1. インタビューの実施について

(1) インタビュー概要

本調査は、千葉キャンパスの総合福祉学部及びコミュニティ政策学部の卒業生が就職した就職先に対し、2023年9月にインタビューを行った。

(2) インタビュー方法

インタビューは、①本学卒業生の勤務態度や能力について、②淑徳大学への要望について、半構造化インタビューを高等教育研究開発センターがインタビュアーとして対面もしくはオンラインで実施した。

(3) インタビュー実施先

インタビュー実施先はキャリア教育・支援センター 千葉キャリア支援室紹介による機縁法により3社に対して実施した。インタビュー先は下記である。なお、インタビュイーは役職まで記載する。

インタビュー先	実施日時	実施方法	インタビュイー
A	9/12 9:30~10:30	オンライン	副施設長
B	9/14 10:00~11:00	対面	施設長、係長
C	9/20 10:00~11:00	オンライン	施設長

2. インタビューの結果について

(1) インタビューA

①本学卒業生の勤務態度、能力等はどうか

- ・ 全体として法人の要になっている職員が多い。
- ・ インタビューを前に法人内の採用委員会メンバーに淑徳大学へのイメージをヒアリングしたが、オールマイティで活躍してくれているなど、肯定的な印象を持っていただいている。

- ・ 離職者がほぼおらず、定着状況は法人の中でも断トツ。淑徳の学生が入職すると安定すると法人内でも評価されている。職員間や保護者とのトラブルなども少ない。
- ・ 他の養成校出身者に比べ、入職時点でのキャリアビジョンが明確な職員が多い。

②今後、淑徳大学に望むこと

- ・ 法人が運営する園は大規模園（定員 180 名前後）だが、障害の疑いがある子どもたちが一定数おり、専門知識を学び現場で生かしたいという職員のニーズが高まっている。
- ・ 現実を理解できるような教育が必要ではないか。いざ現場で働いてみると「大学で学んだことと噛み合わない、こんなはずじゃなかった」という話をよく聴く。そこを解消できるような取り組みを期待したい。

(2) インタビューB

①本学卒業生の勤務態度、能力等はどうか

- ・ 福祉といえばまずは「淑徳大学」という思いがあり、職員の中でも良い人材が多く、卒業生は楽しそうな様子で働いている。近年、すぐに辞めてしまうという職員もいるなか、ほぼ辞めずに主要ポジションで活躍している。
- ・ 卒業生の特徴：「人や対人援助が好き」「人に寄り添う気持ちが強い」「傾聴力が高い」
- ・ 各種課外講座、ボランティア、福祉の科目が選べる、教職課程、発達臨床研究センターなど、教育環境が整っており、入職時には福祉のベースができています。そのため、入職後研修の吸収力も非常に高い。
- ・ 法人の理念として、人として成長していくことを大事にしている。淑徳大学から入職した職員は、サークルや部活動（ボランティアサークル、手話サークル、野球部等）など、在学時にさまざまな経験をしている。

②今後、淑徳大学に望むこと

- ・ 敢えて挙げるならば、「チームワーク」や「グループで提案・協働して考えていく力」を高められるような教育。自分の内側に閉じこもらず、困ったらすぐ周りに聞ける。福祉に限らず役立つことではないか。この仕事は「対 利用者・保護者・行政」の業務が多いため、さまざまな人へ対応できる力が在学中に養われると良い。

(3) インタビューC

①本学卒業生の勤務態度、能力等はどうか

- ・ 資格取得も含め、「人を育てる」ということにおいて、魅力ある大学と感じている。
- ・ 現在卒業生が7名活躍。（※総合福祉学部 全学科の卒業生活躍中）保育実習の受入が最初の採用に繋がり、その後卒業生が徐々に増えている。（今年も内定者が2名）
- ・ 採用した職員は共通して「根が真面目」、「嘘がつかない感じ」。1～2年で早期離職

した職員はいない。

②今後、淑徳大学に望むこと

- ・ 淑徳大学に限ったことではないが、「体験とフォローアップ」を繰り返し、実践力を養っていくとよいのではないか。大学で得た知識やスキルは、実体験とセットになることで真の理解に繋がる。実習に限らず、大学として機会を増やしていくとよいのではないか。
- ・ 実践心理学科を卒業した職員も数名いるが、カリキュラムの中に実習がないと聞いて大変驚いた。その機会の一助となるよう、インターンシップは可能な限り受入をしている。専攻を問うつもりはない。今のところはそのまま就職にはつながっていないが、ひとつでも多くの事業を知り、経験することが必ず生きると考える。
- ・ 体験を「振り返る、見えるべきものが見えているか確認する」ために、フォローアップが重要である。実習やインターンシップでは、気づいたことをすべて書き出すよう指導しており、フォローアップの材料としている。今の時代、人は勝手に育たない。言葉にして共有することを丁寧にしなければならない時代と感じている。

以上